

STEP2 ダンパーを換えるならこんな選択もあり

しなやかな走りが復活する オリジナルショックを装着

■撮影=古閑章郎 (GERMANCARS 写真部) ■取材協力=セントラルオート

メルセデスのショックアブソーバーは消耗品。時期がきたら交換しなくてはならない。どうせ交換するなら強化ショックに入れ替えるのも手。それならばこんなショックはどうだろうか。



ある程度速度が乗った時のレーンチェンジは非常に軽快。かといって動きはヒステリックでなく、安定感は抜群だった。



●テスト車両
●00年式E55

セントラルオートと エンドレスがコラボレーション

足回りをチェックしてから 取り付けてくれる

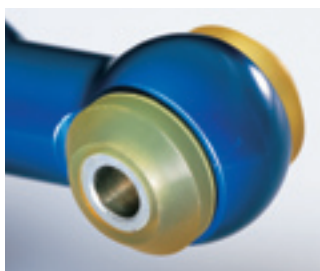
本誌8月号で、E55用のプロトタイプとして紹介したセントラルオートオリジナルのショックアブソーバーが遂に完成した。そのショックとは「210ファンクション」。E55だけでなく6気筒モデルから対応している。W210用の専用ショックである。このショックはエンドレスの社長、花里氏が直々にセッティングを施した、完成度の高いアイテムだという。乗り心地はどのようなものになったのか？ 期待に胸をふくらませてセントラルオートを訪れてみた。

チーフメカの児玉氏によると、この「210ファンクション」は6段階減衰力調節機構付きショック。単筒正立式なのでオイル容量が多く、熱量に余裕があるので安定した減衰力を発揮する。またピストンバルブサイズが大きいので、非常に小さな減衰力も確実に発生することができ、安定した姿勢を保てるという。ショックの性能もさることながら、装着作業をセントラルオートですてくれるのもいい。メルセデス専門工場らしく、足回りをきちんとチェックしてから取り付けられる。しかも、足回りのメンテナンスを同時にするというのも嬉しい点だ。児玉氏によると、減衰

力は好みにもよるが、街中だと前3後2、高速や山道だったら前4後3が気持ち良く走れるという。一通り説明を聞いてから試乗を催促。テスト車両の00年式E55に乗れることになった。この時の設定は、児玉さんも推奨していた前3後2。なのでセッティングはそのまま、早速試乗に出かける。

乗り出してから最初の印象は、ちよつとスポーティな感じ。走っている時に聞こえる「コー」というロードサウンドは、ドライブしていることを快く意識させる。ステアリングからは路面状況が適度に伝わってくるが、腰からの振動は伝わってこない。快適の言だ。そつこうしているうちに市街地を抜けてバイパスに入ると、スピードは徐々に上がっていく。レーンチェンジ時のローリングは滑らかだが軽快。高速コーナーでもちよつとやさつとじゃ姿勢は変わらず、動きは最終安定したままだった。このW210に特化し、クルマの挙動を安定させ気持ち良くするショック、本誌お勧めの逸品である。

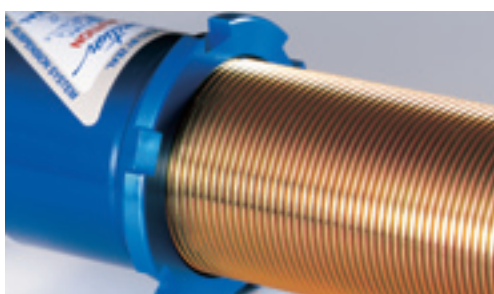
セントラルオートとエンドレスがコラボしてできた強化ショックアブソーバー「210ファンクション」。エンドレスの社長、花里氏が直々にセッティングを施したものだ。価格は23万円とお得な設定になっている。



ブッシュは強化ウレタンブッシュを採用。ゴムブッシュよりも劣化しづらいため、長期にわたって性能を維持できる。



6段階の減衰力調整ができる単筒正立式。フロントはボンネットを開けて、リアはトランク内の樹脂パネルを少し広げれば調整できる。



車高に合わせてストローク量を確保できる全長調整式になっている。調整量は2~3cm程だ。